

遠賀町中小企業景況調査

(令和5年7月-9月期)

調査：遠賀町商工会

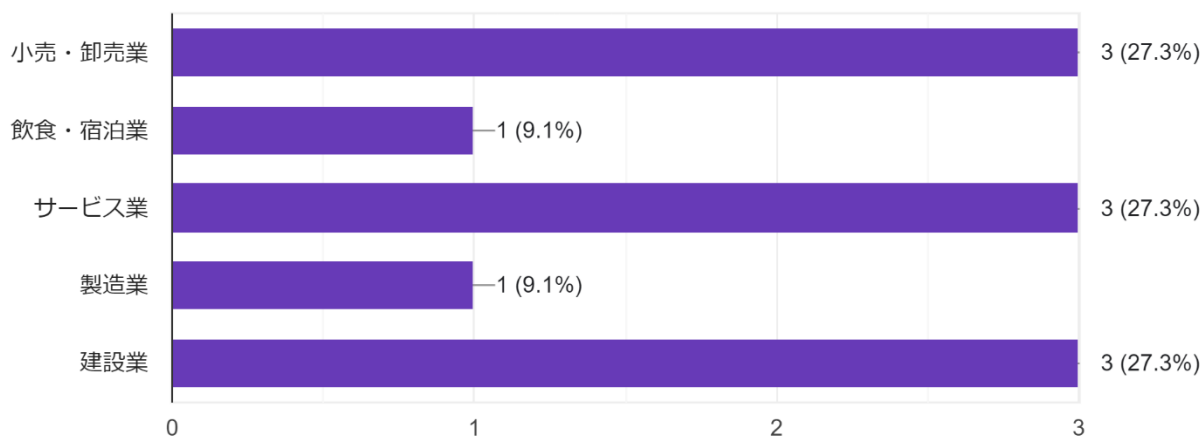
〔調査要領〕

- ① 調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによるWEB回答
- ② 調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③ 調査時点 令和5年9月1日

《集計結果》

1. 貴事業所の業種を教えてください

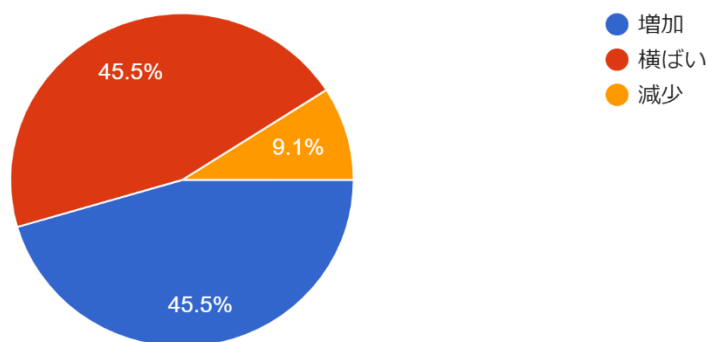
11件の回答



今回のアンケートの回答は、約6割が商業・サービス業で占められているが、製造業、建設業も約4割と全業種にわたってご回答いただいております。全体業種の傾向が読み取りやすくなっています。

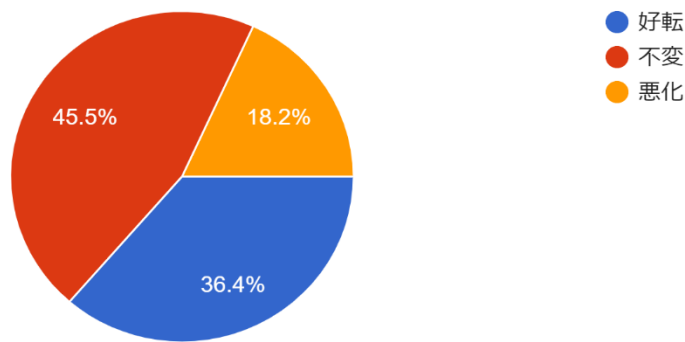
2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

11件の回答



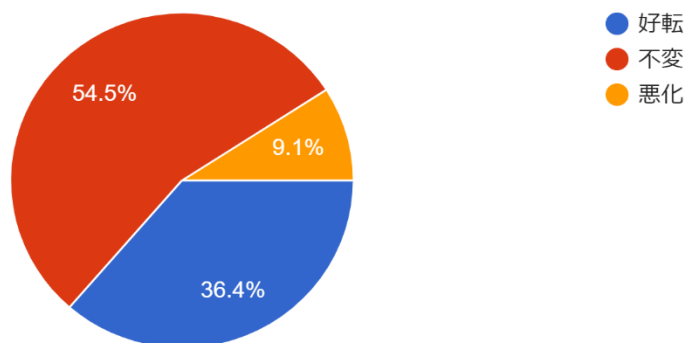
前年同期（7～9月期）は、まだコロナ禍とともに物価高騰の影響も大きく、売上回復の足取りが鈍いが状況であったが、今期は、その影響も緩和され、売上減少した企業は少なくなっている。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
11件の回答



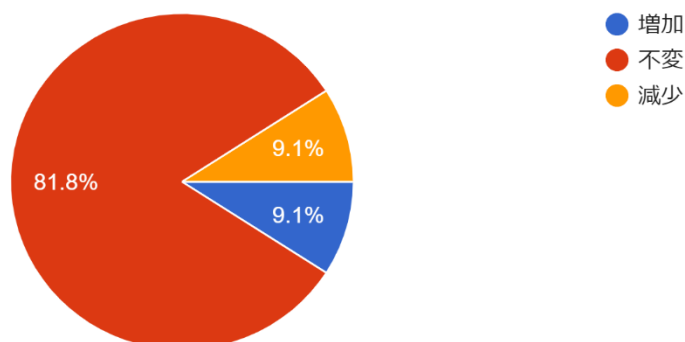
利益の状況についても売上の現状と同様の傾向が見受けられ、その要因として少しずつではあるが物価高騰の影響を価格転嫁で吸収できていると考えられる。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
11件の回答



資金繰りについては物価高騰やコロナ融資の返済開始による影響はあるものの、前四半期（4～6月期）より悪化と回答した企業が大幅に減っており、やや落ち着きが見られる状況となっている。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
11件の回答

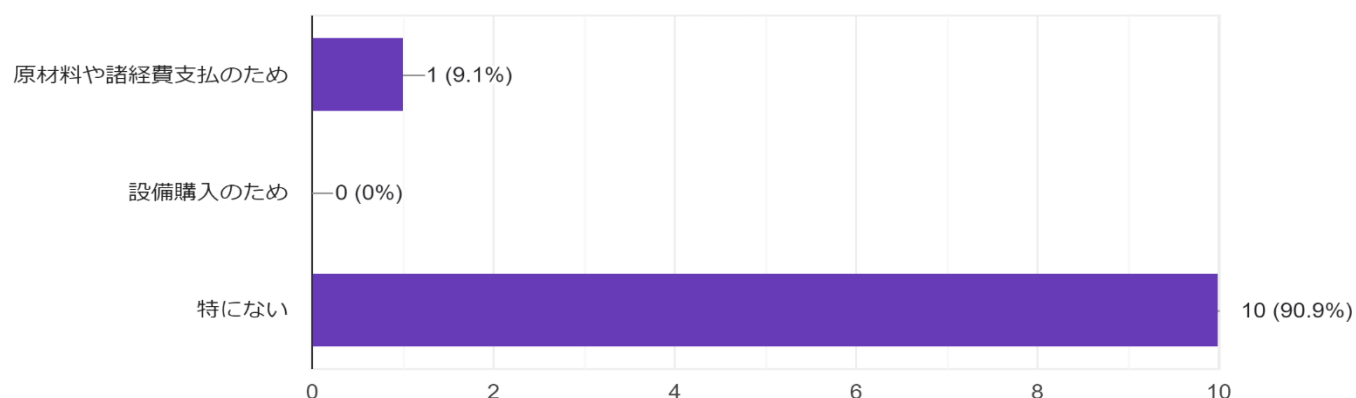


従業員数は、不変との回答が8割を超えているが、やはり生産年齢人口減少による構造的な人手不足の解消は難しいことから、現在の人員での生産性向上に着手することが生き残りを図る上でも喫緊の課題と思われる。

6.

5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

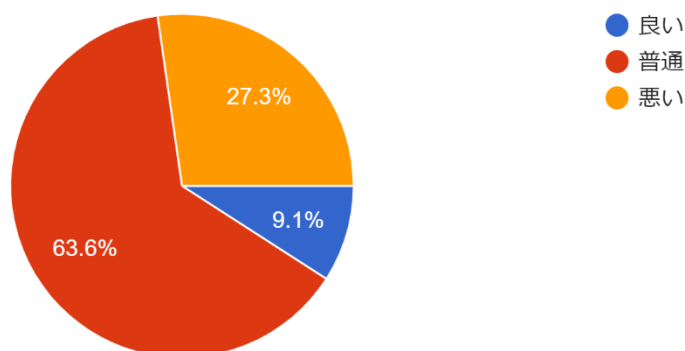
11件の回答



新たな資金調達については、ほとんどの企業がその必要性を感じておらず、特に設備購入のための資金調達についてはゼロとなっている。このことは裏を返せば、現状では事業拡張のための積極的な設備導入まで検討する余裕がないとも受け取れる結果である。

6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

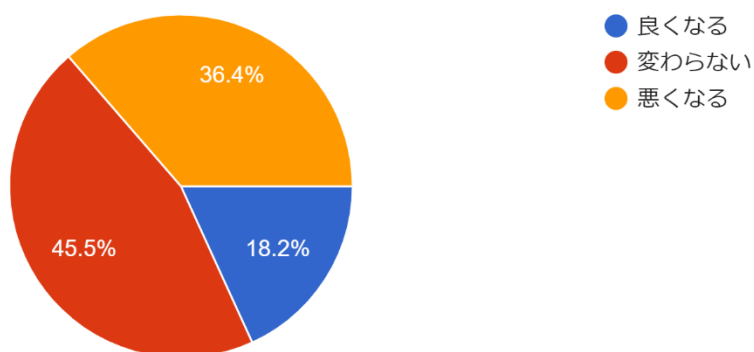
11件の回答



景気そのものは、コロナ禍の収束に伴って回復傾向にあるものの、企業の景況感は「良い」という回答が全体の1割未満となっている。このことは、現状においては、まだ、目に見える形で事業への好影響が感じられていないという経営者としての感覚が反映された結果と思われる。

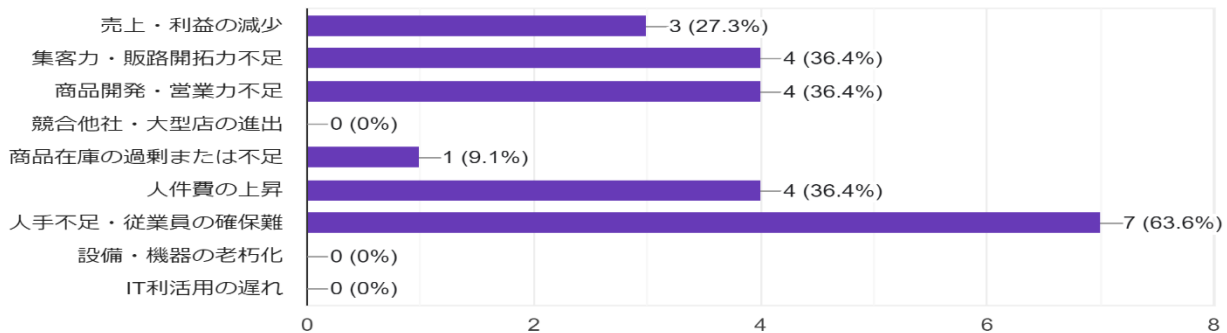
7. 景況感について教えてください今後の景気の見通しをどう予測しますか

11件の回答



現在の景況感に比べて「良くなる」という回答の割合が前四半期（4～6月期）に比べて大幅に減少しており、世界情勢も含めた先行き不透明感が経営においても不安要素となっている状況が見て取れる。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）
11件の回答



課題として「人手不足・従業員の確保難」が最も多くなっているのは、これまで見てきた通りであるが、次いで回答割合が多い「人件費の上昇」への対応としては、効率化や付加価値アップによる労働生産性の向上に前向きに取り組めるかがカギになるとと思われる。